

HPVワクチン接種の流れ

1. 病院を選ぶ



希望するHPVワクチンの接種ができる医療機関を探しましょう。予防接種を行っている医療機関がわからない場合は、市区町村のホームページを検索してみてください。

市区町村名 HPV 予防接種 医療機関

検索

2. 予約を入れる



医療機関に連絡して、ワクチン接種の申し込みをしましょう。希望するワクチンの種類も必ず伝えてください。ワクチン接種予約票がない場合や、通知書に同封されていない場合は、病院に伝えておきましょう。

3. 病院に行く



病院に着いたら受付を済ませ、注意事項を確認の上、予約票に記入し体温を測りましょう。※母子健康手帳と、予約票がある場合は持参してください。

4. 医師の問診



医師による問診がありますので、もし他のワクチン接種の予定がある場合や、これまでワクチン接種をした後に体調に異常があった方は、必ずお伝えください。

5. ワクチン接種



ワクチンを接種します。通常は座った状態で腕の筋肉に注射しますが、横になって打つこともできますので、医師に相談してください。接種後は医師の指導のもと、安静に過ごします。※ワクチン接種は合計2回または3回必要ですので、次の接種日も考えておきましょう。

ワクチンについて、よくあるご質問

Q HPVワクチンは痛いのですか？

A HPVワクチンは、筋肉注射という方法で接種します。接種を受けた部分の痛みや腫れ、赤みなどの症状が起こることがあります。接種を受けた部分の痛み(疼痛)は、50%以上の頻度で発生するとされていますが、多くの場合は数日程度でおさまります。接種後に体調の変化や気になる症状が現れたら、まずはワクチンを受けた医療機関などの医師にご相談ください。

その他のHPVワクチンに関するよくあるご質問は厚労省HPのQ&Aページをご覧ください。



HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)シルガード®9※

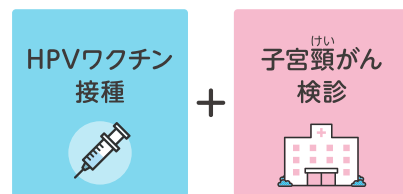
1回目の接種が14歳以下



1回目の接種が15歳以上



「子宮頸がん」を防ぐ+早く見つける!



かかりつけ医を持とう。

生理で気になることは産婦人科へ相談しよう。

HPVワクチンの定期接種を迷っている保護者の方へ。HPVワクチンを接種すべきかどうか、保護者として難しい判断と感ずるかもしれません。将来かかるかもしれない病気のために、今起こるかもしれないリスクは避けたいと躊躇するの当たり前のこと。大切なお子様の将来のために、HPVワクチンについて正しい情報を得て、ご家族もご本人も納得できる選択をしましょう。

詳しくは厚生労働省のホームページへ

厚労省 HPV

検索



※「シルガード®9(9価ワクチン)」で、子宮頸がんの原因となるHPVの80%から90%を防ぐことができます。